

展示室 1 描かれた理想と幻想の世界



S.E.C. バーン＝ジョーンズ
「フローラ」

ヨーロッパ西端のイギリスでは、大陸の伝統を取り入れながらも、独自の美術が展開されました。今回の展示では、イギリス近代美術において理想や幻想の世界をテーマに描かれた作品を集めます。18 世紀以降にイギリスで大きく花開いた風景画では、リチャード・ウィルソンらが自然を正確に写し取るだけでなく、廃墟などの建物や宗教的な主題を実景に描き加えたりする、理想化された風景画を描きました。一方ジョン・マーティンなどロマン主義の画家たちによって、内なる理想世界がドラマティックに描かれました。19 世紀末になると、バーン＝ジョーンズらが神話や文学を典拠に幻想性あふれる絵画美を追求し、諸芸術にも影響を与えました。こうした作品は時を超えて、想像の世界の豊かさを今に伝えています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・セル・コットマン	フェカンのロマネスク遺跡		鉛筆・紙
ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景		水彩・紙
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815 頃	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	テダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョン・マーティン	ミルトン『失楽園』第 1 巻、第 2 巻	1825-7	メゾチント・紙／本
ウィリアム・ブレイク	ヴァーヅル『田園詩』第 1 巻		木口木版・紙／本
サミュエル・パーマー	サミュエル・パーマーによるヴァーヅルの『田園詩』英語版	1883 刊	エッチング・紙／本
エドワード・カルヴァート	林檎酒の宴	1828	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	小川	1829	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	貴婦人とミヤマガラス	1829	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	家路	1830	木口木版・紙
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ダンテ・ガブリエル・ロセッティ	マドンナ・ピエトラ	1874	パステル・紙
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	アヴァロンにおけるアーサー王の眠り	1894	グワッシュ・紙
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1833-98	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』より	1905	リトグラフ・紙／ポートフォリオ
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914 頃	油彩・キャンバス
サー・フランク・ブランギン	花園	1900 頃	油彩・板
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
オーブリー・ピアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカナーン (オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	1893	ラインブロック・紙

展示室 2 みづゑの魅力



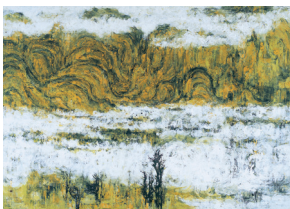
中川八郎「早春」

水彩画は、日本人にとって身近で親しみやすい絵画技法です。明治時代に日本にもたらされ、その後イギリスの水彩画家たちの来日をきっかけに広く普及しました。

「みづゑ」とも呼ばれた水彩画は、湿潤な日本の風土と調和し、四季折々の自然の美を描き表すには最適な技法ともいえるでしょう。アルフレッド・イーストやアルフレッド・パーソンズをはじめとするイギリスの画家たちは、日本各地を旅し、風景を水彩で描きました。日本の画家たちは彼らから大きな影響を受けながら、美しい自然や農村の風景、外国の風景などを水彩画で表現したのです。画家たちの感じた風景が、やわらかな色彩と生き生きとしたタッチに表れています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
サー・アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	1889	水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	1891	水彩・紙
大下藤次郎	春雪の茶店		水彩・紙
大下藤次郎	舟のある風景	1906 (明治 39)	水彩・紙
大下藤次郎	蓮池		水彩・紙
大下藤次郎	晩秋	1908 (明治 41)	水彩・紙
鹿子木孟郎	綾瀬		水彩・紙
河合新蔵	ノウゼンカズラのある宿場		水彩・紙
河合新蔵	武州五日市の雪景		水彩・紙
丸山晚霞	少女のいる風景、春		水彩・紙
三宅克己	箱根		水彩・紙
五姓田芳柳 (二世)	月の瀬・奥の谷		水彩・紙
五姓田芳柳 (二世)	妙義山第一門		水彩・紙
中川八郎	秋の河辺		水彩・紙
中川八郎	早春		水彩・紙
吉田博	村里の子供たち (岩戸)		水彩・紙
吉田博	風景		水彩・紙
吉田博	山村風景	1896 (明治 29)	水彩・紙
石川欽一郎	牛荘 (Newchowang)		水彩・紙
石川欽一郎	信州の田舎		水彩・紙
吉田ふじを	土間	1906 (明治 39)	水彩・紙
吉田ふじを	レニヤ山		水彩・紙
真野紀太郎	ウェリントン植物園	1924 (大正 13)	水彩・紙
南薫造	橋のある河		水彩・紙
南薫造	日没		水彩・紙
南薫造	川べりの家		水彩・紙
南薫造	教会堂		水彩・紙

展示室 3 郡山ゆかりの美術



黒沢吉蔵「霧れる高地」

郡山市は福島県の中央に位置し、経済活動の活発さから「経済県都」と呼ばれていますが、芸術文化活動も盛んな地域であり、美術の領域においても、多くの美術家を輩出しています。

郡山市立美術館は、これまでに「郷土ゆかりの美術」を収集の柱のひとつとして、県内はもとより、国内外で活躍する(した)郡山市とゆかりのある美術家の作品をコレクションしてきました。今回は、洋画、日本画、版画、彫刻、工芸等の様々な分野の作品を紹介します。郷土を代表する美術家たちの作品をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
安藤重春	雨の華	1979(昭和 54)	岩絵具・紙
黒沢吉蔵	霧れる高地	1968(昭和 43)	岩絵具・紙
水田荘介	横たわる裸婦	1953(昭和 28)	油彩・キャンバス
青津清喜	枯れた花の静物	1951(昭和 26)	油彩・キャンバス
土橋醇	星雲	1963(昭和 38)	油彩・キャンバス
芳賀忠行	虚構の風景一城	1974(昭和 49)	油彩・キャンバス
鎌田正蔵	ロボット家族 (B)	1982(昭和 57)	アクリル・キャンバス
佐藤昭一	シリーズ透過 02	2002(平成 14)	アクリル・キャンバス
岩谷徹	春の胎動	1972(昭和 47)	メゾチント・紙
岩谷徹	秋の使者	1978(昭和 53)	メゾチント・紙
岩谷徹	月の森	1982(昭和 57)	メゾチント・紙
安部直人	Anonymous I	1995(平成 7)	エッチング、メゾチント・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
折笠兆春	黄雲	1995(平成7)	乾漆	折笠兆春氏寄贈
三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木	
三坂耿一郎	女童(めわらべ)	1974(昭和49)	ブロンズ	
佐藤静司	フルーティスト	2000(平成12)	木	佐藤静司氏寄贈

展示室4 英国キリスト教美術



S.E.C. パーン=ジョーンズ
「キリストの昇天」

西洋美術はキリスト教の美術といつていいほど、キリスト教は西洋の美術家にとって、主要なテーマになっています。イギリス美術にも同様のことがいえます。

18世紀に活躍したウィリアム・ブレイクは、聖書の題材を独自の解釈で視覚化した画家で、幻想的なイメージが彼の作品の特徴になっています。

また、19世紀半ばに結成されたラファエル前派は、当時のアカデミックな芸術に反抗した前衛的な美術集団でしたが、彼らが描いた主なテーマもキリスト教でした。キリスト教は、西洋はもちろんのこと、日本でも、多くの美術家がキリスト教を題材に制作しています。彫刻家の舟越保武もそのひとりです。

ここでは、多くの美術家にとって、インスピレーションの源となっているキリスト教に着眼し、特にイギリスにおけるキリスト教美術の特色を探っていききたいと思います。

作者名	作品名	制作年	技法・形状
トマス・ローランドソン	北ウェールズ、カマーゼンの風景、教会へ向かう人々	1790 代初頭	水彩・紙
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』より4点	1825	ラインエングレーヴィング/ポートフォリオ
ジョン・マーティン	裁きを受けるアダムとイヴ	1833	水彩・紙
ジョン・マーティン	光の創造	1825	メゾチント・紙
ジョン・マーティン	墮落した天使たちを呼び覚ますサタン	1825	メゾチント・紙
ジョン・マーティン	ノアの大洪水	1828	メゾチント・紙
ジョン・マーティン/リチャード・ウェストール	『聖書のための挿絵』	1835	木口木版・紙/本
サー・エドワード・コリー・パーン=ジョーンズ	キリストの昇天	1875	チョーク、墨・紙
ディエル兄弟(刻)	『ディエル兄弟の聖書ギャラリー』より4点		木口木版/ポートフォリオ
サミュエル・パーマー	クリスマス(最後の羊を囲う)	1850	エッチング・紙
スタンリー・アンダーソン	人と十字架		エッチング・紙
デイヴィッド・ジョーンズ(画・刻)	『チェスター劇『大洪水』』	1977	木口木版・紙
デイヴィッド・ジョーンズ(画・刻)	『デイヴィッド・ジョーンズの版画集(ブルーフ集)』より2点	1981	木口木版、エングレーヴィング、ドライポイント・紙
エリック・ギル	聖ルカ	1922	木口木版・紙
エリック・ギル	イエズス会の殉教者	1923	木口木版・紙
エリック・ギル	ゲッセマネの園におけるキリストの苦悶	1926	木口木版・紙
エリック・ギル	エヴァ	1926	木口木版・紙
エリック・ギル	磔刑	1931	木口木版・紙

展示室4 仏足跡と祈りの造形



佐藤潤四郎「オブジェ・仏足跡」

佐藤潤四郎は、晩年奈良の薬師寺からの依頼で舍利器を制作しました。それが縁で薬師寺に伝わる《仏足石》に刻まれた仏様の足跡、「仏足跡」に興味を抱きます。以来、仏足跡は「ガラスの神様」とともに潤四郎による祈りの造形のキャラクターとしてなくてはならない存在となりました。

また、潤四郎の工芸デザイナーとしての最高傑作といわれるのが「《スーパーニッカ》手吹きボトル」です。スーパーニッカはNHK朝の連続ドラマ「マッサン」の主人公のモデルで、ニッカウヰスキーの創設者・竹鶴政孝が作り上げた日本で最初の本格的ウヰスキーです。このお酒には、発売の前年に身まかった竹鶴を支え続けた愛妻・リタへの祈りが込められている、と言われています。その竹鶴の思いを見事に包み込んだ潤四郎のボトル、改めて見つめてみませんか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舎利器(試作)	1978(昭和53)	宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舎利小容器(試作)		宙吹き・プランツ	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器(控) No.1	1980(昭和55)	宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	宙吹き・カット、プランツ、雲母封入	
佐藤潤四郎	舎利器(カレット入り)		宙吹き・カレット融着	
佐藤潤四郎	デザイン・カガミクリスタル制作			
	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	宙吹き	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹き・グラヴェールなど	
佐藤潤四郎	オブジェ・手	1984(昭和59)頃	サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)頃	サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡ロータス	1984(昭和59)	エッチング、サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-68(昭和48-51)頃	宙吹き・サンドブラスト	
佐藤潤四郎	瓶・ガラスの神様		宙吹き・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		宙吹き・サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス		宙吹き・サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	宙吹き・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	宙吹き	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	スタンドグラス・仏足跡		ガラス・鉄	
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1		陶器	寄託作品

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2 / 石で仏足跡		陶器 / 石	寄託作品
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ	
アリストフィード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	